



学校が再開され、1ヶ月半が過ぎました。学校でも新しい生活様式ということで、普段より制約が多い中ですが、質の高い学びを保障しようと取り組んでいるところです。

マスクによって表情の認知が難しかったり、「仲良くしなさい」と「離れなさい」の逆のメッセージを受け取ったりなどとストレスは多く、こういったことは時間をおいて後で影響が出てくる可能性があります。お子さんの様子で「ちょっといつもと違うな。」と感ずることがありましたら、ぜひとも学校にお伝えください。

それから、保護者の皆様や先生方も同様ですので、音楽を聴く、映画を見る、運動をする、おいしいものを食べるなど、それぞれの方法でストレスケアをしっかりと行っていきましょう。



過保護と過干渉の違いは？

先日、「教育相談スキルアップ研修会」というものに参加し、学校心理学や教育相談の第一人者である東京成徳大学 田村節子先生の講義を受けることができました。「機会があれば保護者の皆様にぜひとも伝えてください。」とのことでしたので、ご紹介していきます。

人には年齢に応じて達成しなければならない「発達課題」というものがありますが、それが今とどん獲得が遅れてきていて、35歳くらいまで思春期が続くと言われることがあります。なぜ遅れてしまうのか、その原因の一つに保護者の「過保護」と「過干渉」があります。その二つは似ているようですが、違いは以下の通りです。

- **過保護とは…子どもの手や足**になることです。先回りして子どもが困らないように何でもしてあげます。子ども同士で遊びに行きたいとなった時、頼まれてもいないのに保護者が送っていく、勉強道具をそろえてあげる、テストの予定をチェックして勉強させるなど…。そういったことをすることで、知能に関係なく**社会性が遅れていきます**。
- **過干渉とは…子どもの頭**になることです。子どもの代わりになって何でも考えてあげます。「ああしたら。」「こうしたら。」「あの子と仲良くしたらダメ。」などとレールを敷き、転ばぬ先の杖といった状態です。そういったことをすることで、子どもは息苦しくなり、自分がなくなっていきます。子どもは自分で決めたことではないので、責任を取ろうともしません。そして、**人生決定できずに自立できなくなります**。

私自身にも身に覚えがあり、とても耳が痛いです。親の愛情のつもりでやっていることが、実は子どものためになっていないということです。親がやるべきことは、「子どもの力を信じて、見守ること」です。田村先生は、過保護・過干渉がどうかを見分けるときに、その子に聞いて親が答える、あるいは顔色を見るといった行動があるかどうかに着目するそうです。「あなたはどう思うの？」と投げかけ、自分で考えて自分で言えるようにすると良いとのこと。もちろん一人ひとりの段階に応じて、それぞれに合ったやり方を模索しながらですが、このような視点をもって子育てに臨むだけで、一歩成長する子どもたちの姿が見えるようです。

虐待としつけの違いとは？

虐待でニュースになるようなケースでは、必ず「しつけとしてやった。」という言葉が聞かれます。この二つはどう違うのでしょうか。

- しつけ…何をしたら褒められ、何をしたら罰せられるのか、子どもにも理解し、予測できる。
- 虐待…大人の気分や理解しがたい理由で罰せられる。

こんな例が挙げられていました。

お父さんからチョコレートもらった時、食べると「なんで自分だけ食べるんだ。他の家族にも分ける。」と殴られる。

お父さんからチョコレートもらった時、前には食べて殴られたから食べないでいると、「何で俺のあげたチョコレートが食べられないんだ。」と言って殴られる。

食べても食べなくても殴られるといった具合に、一貫性がないと、子どもは戸惑います。子どもを褒めたり叱ったりするときには、一貫性をもたせることが大切です。



兄弟でえこひいきは、どんな事から感じるの？

兄弟に同じように愛情を注いでいるつもりでも、子どもは微かな違いを感じ取ることがあるそうです。それはどんな事から感じるのかというと、**食べ物の量と順番**だそうです。

例に挙げられたのは、こんな内容でした。

上の子(兄)が万引きをしてしまい、カウンセリングすると、母親の愛情が弟に注がれていて、注目されたくてこういう行動をしたことが分かりました。「お兄ちゃんは大いから我慢しなさい。待っていなさい。」などと言われていました。その家庭では、食事が出される順番は弟、兄、犬、父の順番で、母は、弟が食べたがる分だけあげるの、兄や父の食べる分がなくなることがあったそうです。食事を出す順番を父、兄、弟、犬の順に代えたところ、その行動は収まり、父親の存在感も増したとのことでした。

食べ物くらいで「いやしい」ということではなく、食べ物は命をつなぐものであること、そのことから愛情を感じ取るものだということを知りました。

☆放課後等児童サービス事業所との情報交換会☆

学校での学習についてお伝えしたり、事業所での過ごし方や利用状況についてお伺いし、連携した支援をすることを目的に実施致します。実施期日は7月13日～30日まで、代表の方に来校していただき担任と懇談致します。その際、個別の教育支援計画を提示させていただきますので、ご了承ください。

☆お気軽にご相談ください☆

しせい専用電話：080-7216-7351（平日9時～16時）

担当：大和田 布佐子